

製品名: ERK1/2 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85038**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.5% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 44,42 kDa; Observed MW: 44,42 kDa

抗原情報

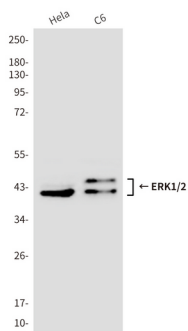
遺伝子名	ERK1/2 MAPK3; ERK1; ERT2; ERK-1; PRKM3; P44ERK1; P44MAPK; HS44KDAP; HUMKER1A; p44-ERK1;
別名	p44-MAPK; MAPK1; ERK; p38; p40; p41; ERK2; ERT1; ERK-2; MAPK2; PRKM1; PRKM2; P42MAPK; p41mapk; p42-MAPK.
遺伝子 ID	5595/5594
SwissProt ID	P27361/P28482
免疫原	KLH に結合した合成ペプチド。

背景

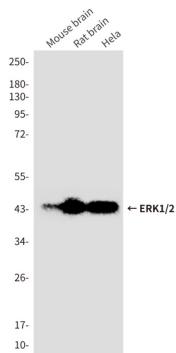
セリン/スレオニンキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK1/ERK2 と MAPK3/ERK1 は、MAPK/ERK カスケードにおいて重要な役割を果たす 2 つの MAPK です。これらは、活性化 KIT および KITLG/SCF によって開始されるシグナル伝達カスケードにも関与します。細胞の状況に応じて、MAPK/ERK カスケードは転写、翻訳、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化など、多様な生物学的機能を媒介します。

研究分野

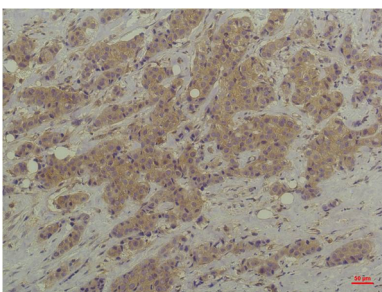
画像データ



ERK1/2 抗体を用いた HeLa、C6 ライセート中の ERK1/2 のウェスタンブロット分析



ERK1/2 抗体を用いたマウス脳、ラット脳、HeLa ライセート中の ERK1/2 のウェスタンブロット解析



ERK1/2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。